



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより

平成31年度 第1号

平成31年 4月8日

桜の季節に新たなスタート

校長 吉田 正行

日本人は春の訪れを桜の開花で感じ、新しく何かが始まる期待を膨らませてきました。瓜生小学校もいよいよ平成31年度の始まりです。お子さまのご入学・ご進級おめでとうございます。本日29名の新1年生を迎え、全校児童204名のスタートとなりました。

輝かしい歴史と伝統、さまざまな価値ある実践の積み重ねを土台として、瓜生小学校を「**創意のある学校、信頼される学校、活力のある学校**」にするために、教職員が一致団結して充実した教育活動を展開してまいります。

1 教育目標 **すすんで学ぶ子 思いやりのある子 きたえる子**

「すすんで学ぶ子」は、学んだ知識を生きる知恵にまで高め、広げられるように、基礎学力を定着させ、思考力や学習意欲を高めること。「思いやりのある子」は優しさと寛容の心を持ち、互いの人権を尊重できること。「きたえる子」は、健康な心と体を持ち、頑張り、やり遂げる意志をもつことを、それぞれの目標としています。

2 今年度の主な取組

(1) **学習指導方法の工夫改善を図り、基礎学力を定着させ、思考力、判断力、表現力を伸ばします。** ねらいをはっきりさせた授業を行い、基礎学力の定着を図ります。また、分かった、楽しいと思える授業を工夫するとともに、子供たちが考え、問題を解決していく学習を展開します。さらに、プログラミング教育を充実させ、プログラミング教材とタブレット端末や大型テレビ等のICT機器を活用し、論理的な思考ができる児童を育てます。

(2) **豊かな心の育成と規範意識を高めます。**

児童一人一人をよく理解し、人権教育を基盤とした教育を推進し、自己肯定感を高めます。また、基本的な生活習慣の確立とルールや約束を守る意識を高めることにより、社会の一員としての自覚をもたせます。さらに、道徳教育を充実させ、思いやりの気持ちをもって友達や他の人と接する子供を育てるとともに、いじめにつながる兆候を早期に見取り、全ての児童が楽しく学校生活を送れるようにします。

(3) **価値ある体験活動を充実させ、持続発展可能な社会の創り手としての資質を高めます。**

環境教育、国際理解教育、福祉教育、栽培活動等の体験を重視した活動を充実させます。また、東京2020を前に、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、外国語活動を充実させ、海外との交流や日本の伝統文化の理解を通してグローバルに活躍できる人材を育成します。さらに心と体の健康づくりに取り組み、生涯体を動かすことが大好きで何事にも挑戦する子供を育てます。

(4) **防災教育や安全教育を充実させ、児童の危機対応能力の育成を図ります。**

地域や近隣大学と連携し、防災・安全教育を計画的に進め、意識や実践力を高めます。

4月5日、教職員は新6年生とともに新年度を迎える準備をし、心新たに今日を迎えました。教育環境を整え、保護者や地域の方々と力を合わせて瓜生小学校をより一層素晴らしい学校に発展させ、子供たちの健やかな成長を図ってまいります。今年度も昨年度同様、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。



さくらの花に囲まれてスタート